SONY

2-635-230-**06** (1)

ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全のために」の注意事項は裏面をご覧ください。

"ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

D-EJ002

リモコン

ヘッドホンジャック(裏面)

▶II*(再生/一時停止)

HOLD

I◀◀/▶▶I

■(停止)

VOL +*/–

ヘッドホンのプラグをリモコンにしっかり差し込んでください。

ご注意

本機を操作するときは、付属のリモコンをお使いください。付属のリモコン以外では本機を操作することはできません。

* ボタンに凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

電源

乾電池(別売り)で使う

1 OPENつまみをスライドさせて本体のふたを開け、中の電池ぶたを開ける。

2 単3形(LR6)アルカリ乾電池2本を⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。どちらの電池も⊖側を先に入れる。

電池の持続時間*

G-PROTECTIONの設定	G-on	G-off
日本製ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)2本使用時	約16時間	約11時間

* 電子情報技術産業協会(JEITA)の測定方法に基づいています。
本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状態によって異なります。

- の中の部分は残量のめやすを表わしています。1つが4分の1を示しているわけではありません。

ACパワーアダプター(別売り)で使う

本機のDC IN 4.5V端子に差し込んだあと(A)、壁のコンセントへ差し込んでください(B)。

CDを聞く

CDを聞く前に、ホールドが解除されているか確認してください。ホールドの解除について詳しくは、「誤操作を防止する(ホールド)」をご覧ください。

1 OPENつまみをスライドさせてふたを開け、中心の黒い部分にCDを合わせて入れ、ふたを閉める。

2 ▶IIボタンを押す。
1曲目から再生するには、停止中に、再生が始まるまで▶IIボタンを押したままにする。

ご注意

- 本機は、オーディオCDとCD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)とCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。
パソコンでCDを作成する場合は、ファイナライズ(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしてください。ファイナライズ作業については、CDを作成するソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- MP3、ATRAC3やWMAなど、CD-DA以外のフォーマットは再生できません。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

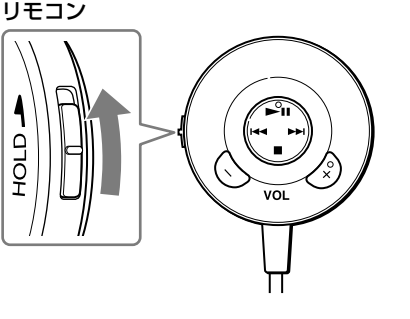
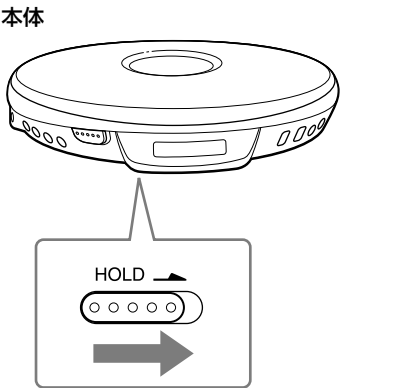
* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

誤操作を防止する(ホールド)

誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

ホールド状態にするには

本体裏面、またはリモコンのHOLDスイッチを、矢印の方向にスライドします。

本体

ホールド状態を解除するには

本体で操作する場合は、本体のHOLDスイッチをもとの位置に戻し、リモコンで操作する場合は、リモコンのHOLDスイッチをもとの位置に戻します。

デジタルMEGA BASS(低域強調)機能

再生中にSOUND/AVLSボタンを繰り返し押して、「SND 1」または「SND 2」を選びます。
音がひずむときは、音量を下げてください。

AVLS*(快適音量)機能

*Automatic Volume Limiter System

SOUND/AVLSボタンを押したままにします。「AVLS」表示が3回点滅したら、AVLS機能が働いています。
1回しか点滅しなかったら、AVLS機能は働いていません。その場合は、「AVLS」表示が3回点滅するまでSOUND/AVLSボタンを押し続けてください。

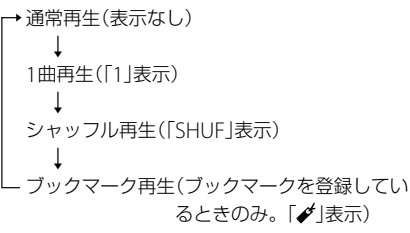
AMS*/サーチ機能

*Automatic Music Sensor

曲の頭出しをするには、I◀◀/▶▶Iボタンを1度、または繰り返し押します。
早戻しや早送りをするには、I◀◀/▶▶Iボタンを押したままにします。

再生モード機能

再生中に、P MODE/ボタンを押す。
押すたびに、以下のように、再生モードの表示が変わります。

通常再生(表示なし)
↓
1曲再生(「1」表示)
↓
シャッフル再生(「SHUF」表示)
↓
ブックマーク再生(ブックマークを登録しているときのみ。「」表示)

選んだ再生モードで繰り返し再生する場合、「」が表示されるまでP MODE/ボタンを押したままにします。

G-PROTECTION(音飛び防止)機能

ジョギングのように動きながらCDを聞くときに、音飛びするのを防ぎます*。
初期設定は「G-on」です。「G-off」を選ぶには、停止中に▶▶Iボタンを押しながら、▶IIボタンを押します。CD本来の高音質で再生するには、「G-off」に設定してください。
「G-on」設定時は、音飛び防止のため、CDのデータを先に読み込みます。その場合、再生中にCDの回転が止まることがありますが、再生には影響ありません。

* 次のような場合、音が飛ぶことがあります。
強い衝撃が連続的に与えられた場合、傷や汚れのあるCDを聞いているとき、CD-R/CD-RWでは、ディスクの質がよくなかったり、記録に使用したレコーダーの状態やソフトに問題がある場合。

ブックマーク再生

好きな曲にブックマーク(しおり)を付けておくと、ブックマークを付けた曲だけが曲番の小さいほうから順番に再生されます。

1 ブックマークを付けたい曲の再生中に、「(ブックマーク)」がゆっくり点滅するまで▶IIボタンを押したままにする。

2 ステップ1を繰り返して、好みの曲にブックマークを付ける。

3 「」が点滅するまでP MODE/ボタンを繰り返し押す。

4 ▶IIボタンを押す。

ブックマークを消すには

ブックマークを付けた曲の再生中に、「」が消えるまで▶IIボタンを押したままにします。

CDを入れ替えて再生を開始すると、前のCDで記憶されていたブックマークは、すべて消去されます。

ご注意

本機は、16曲以上入ったCDの場合、ブックマーク再生の繰り返しには対応していません。繰り返しを解除して再生してください。
繰り返しを解除する場合は、の表示が消えるまでP MODE/ボタンを押したままにしてください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ボタンを押すと「Hold」が表示され、再生が始まらない。

→ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLD状態を解除してください。

同じ曲が繰り返し再生される、曲順が正しく再生されない。

→ 再生モードを確認する。詳しくは、「再生モード機能」をご覧ください。

再生中に、CDが止まることがある。

→ G-PROTECTION(音飛び防止)機能による動作です。故障ではありません。CDのデータを先に読み込み、音飛びが起こりにくくしています。

VOL＋ボタンを繰り返し押しても音量が上がらない。

→「AVLS」表示が1回点滅するまでSOUND/AVLSボタンを押し続け、AVLS機能を解除する。

再生が始まらない。

→ 結露(本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着)している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。

「Lo bAtt」が表示される。

→ 電池が消耗しています。すべて新しい電池に交換してください。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化(D/A)
1bitクォーツ時間軸制御

出力端子(電源電圧4.5 V時)
ヘッドホン出力(ステレオミニジャック)
最大出力レベル5 mW＋5 mW
(JETIA/16 Ω)
推奨負荷インピーダンス16 Ω

電源
- 単3形(LR6)アルカリ乾電池2本(別売り)：DC 1.5 V×2
- 外部電源ジャック：定格DC 4.5 V ACパワーアダプター(別売り)を接続してAC 100 V電源から使用可能

本体寸法(幅×高さ×奥行き)
約139.8 mm × 27.9 mm × 139.8 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)(JEITA*)
約139.8 mm × 28.6 mm × 139.8 mm

質量
本体：約196 g
約242 g(乾電池を含む)(JEITA*)

動作温度
5 ℃～ 35 ℃

* 電子情報技術産業協会(JEITA)の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CEマークは、それが法的に強制されている国—主としてEEA(欧州経済地域)に加盟している国—でのみ有効です。

製造年は本体の電池ぶたの内側に表示されています。

ATRAC3はソニー株式会社の商標です。
その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記の注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

1. 電源を切る。
2. ACパワーアダプターをコンセントから抜く。
3. ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

⚠警告

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

運転、歩行中の使用について

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

禁止

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

国内専用機は海外で使用しない。指定以外のACパワーアダプター、カーバッテリーコードを使わない。

- ワールドモデル以外のACパワーアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因になります。

指示

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。

接触禁止

絶対に分解しない。

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

分解禁止

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池	ニカド(Ni-Cd)、ニッケル水素(Ni-MH)、リチウムイオン(Li-ion)
乾電池	アルカリ、マンガン
ボタン型電池	リチウムなど

⚠危険　充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。
  電池を飲み込んだとき
  窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意　乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

使用上のご注意

電源について

- 本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。
- 本機には、本体での充電機能はありません。

ACパワーアダプターについて

- AC-E45L(別売り)をご使用ください。他のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

- ACパワーアダプターは容易に手がとどくような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。
  CDに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはソニーの相談窓口に相談してください。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

DualDiscについてのご注意

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

プラグの汚れは

プラグが汚れてくると、音が出なかったり、雑音が聞こえたりします。柔らかい布で定期的に乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを　この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合が悪いときはサービスへ　ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

付属品

リモコン(1)
ヘッドホン(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

お問い合わせ先について

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記までお知らせください。

- 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］—［ウォークマン］です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - 型名
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「302」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1